

会 報

75号



函館の歴史的風土を守る会会報

No.75 H16. 1. 25

発行所 函館の歴史的風土を守る会

事務局 函館市五稜郭町43-9

五稜郭タワー株式会社内

電話 (0138) 51-4785

印刷所 (有)三和印刷 電話 45-0845

歴風会設立25年を経過して

会 長 清 野 恒 夫

歴風会は設立25年を経過した。市民運動が四半世紀に渡って継続しているのは全国でも有数であり、函館を熱く想う会員並びに運営委員の努力と関係各位の支援に感謝している。

平成15年度の歴風講演会は富沢嘉平先生による「函館四天王（函館商人の歴史）」で、元町公園内の銅像設置理由が分かり有意義であった。懸案の「ふるさと写真展」も準備が完了し、2月18日より25日まで函館駅イカすホールにて開催される。

特異なこととして日本テレビエンタープライズより「おもいきりテレビ・今日は何の日」の撮影協力依頼が来た。4月21日は函館元町末広町地区が文化庁の「伝統的建造物の指定地域」に登録された日である。

全国放映なので歴風会の知名度向上のためと思い協力したところビデオが送られてきた。大火焼失の度に改良された函館固有の疑様体建築物の建造経緯が華麗なBGMと美しい映像で写し出されている。「函館の歴史的風土を守る会」が設立された契機と市民運動として発展していった経過が端的にまとめられていて、会の説明ビデオとしては貴重なものである。設立当時の高揚した状況と比べ、現在設立当初の役員も少なくなり「学び・知らせ・守ろう」の「自主的な決意」もやや衰退の感があるのが実情である。これからの活力ある運動継続のために新しい会員の拡大と行動力豊かな若手の運営委員の参加が強く望まれるところである。



於 新春チャリティーパーティ 日舞「女黒田節」 対馬会員

歴史的“風土”について

副会長 若山 直

皆様、明けましておめでとうございます。お元気で新年を迎えられたことと存じます。

さて、今年末の不況風のなかで「年頭に当たって」と書き出しながら思うこと。それは、日本人の寿命は世界一なのに、住まいの命は短く、西欧人が「木と紙でできている」と呼ぶ木造家屋に住んでいる不思議です。これは我々の歴史的風土とどう関係してきたのでしょうか。それは日本人の精神の根底に、住居の弱さを屁とも思わぬ強固な宗教観、人生観があるからではないか。「貴方の宗教は？」と聞かれて「禅宗の家だけど自分は“無宗教”です」と答える人がいますが、これはとんでもない。彼はちゃんと12月にクリスマスケーキを食べ、1月は八幡宮に初詣でし、2月には母の命日にお坊さんにお経をあげてもらっています。この行為こそ立派な宗教者の証しです。キリスト教、回教などは唯一神を祭り、異教を排除しますが日本は多神教で「やおよろず」（八百万！）の神々に祈る。神の数と祭る方法の桁が違う。これだけ多ければキリストやアラーを増やしたところで大勢に影響はない（戦国末期のキリシタン弾圧については別に機会があれば述べます）。この歴史的風土が日本の特徴であり、今後の世界が学ぶべきことだ、というのが私の主張です。

これは平成16年初頭に実行されているに違いない自衛隊イラク派兵とも密接に関係があります。賛否は別として、この事態を生かす方法があるとすれば、それは日本が他の多国籍軍や、アメリカと違う宗教観をも

つことを告示できるチャンスだということです。

戦前の日本は「鬼畜米英」と言いながら特攻機の自爆攻撃も及ばず敗北。つい半世紀前のことです。しかし、潔く「アメリカの民主主義も悪くない」と転身し、戦法を変更しました。20年後、世界経済戦争の中でアメリカ国内に進攻。アメリカ製の時計、ラジオ、テレビ、小型自動車などを駆逐しました。勝利の秘訣は「石の上にも10年」我慢することでした。悠々の歴史をもつイラクにもできて当然です。そのためには柔軟な思考が必要です。この日本歴史の教訓を徹底的に頭の柔らかいイラクの青少年、女性を相手に主張することです。若い自衛隊員が多いのだからロマンスも生まれるでしょう。彼女ら花嫁は未来の「イラク通」に育つでしょう。「敵を知り、己を知れば百戦して危うからず」を日本の理念とし、「武器を使わない軍隊」が存在可能なことを世界に実証する。そのための特殊訓練を練って欲しい。活路はそこから生まれるはずです。さて、旧丸井百貨店の再生プランが決まり、総合博物館構想も見えてきました。戸井町、南茅部町が函館と合併した暁には、函館市は「縄文遺跡5千年」の「歴史の町」となります。当時の建造物は跡形もないが、有史以来の歴史を証言できる町となるのです。

新年は函館観光にとっても、歴風会にとっても記念すべき出発の年。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

（2003. 12. 6記）

お知らせ その1

☆ 第26回 函館の町並みを美しくする ☆

新春チャリティーパーティーのご案内

日時／2004年3月19日（金）午後6：30

場所／五島軒本店（末広町4-5）

内容／・歴風文化賞表彰

・歴風文化賞紹介

・函館のイベント情報発信

・ディナー アトラクション

・チャリティーオークション

・プレゼントクイズ

会費／5,000円

主催／函館の歴史的風土を守る会

実行委員長 小笠原金悦

副実行委員長 今 千尋

歴風会会長 清野 恒夫

事務局 五稜郭タワー内

歴風会（両角）51-4785

※ パーティー終了後に、会場より函館駅前經由五稜郭電停までバスが運行されますのでご利用下さい。

文化講演会の報告

学習部 千葉 敬

演 題：「激動の時代を生き抜いた函館商人と四天王」

講 師：富 澤 嘉 平 氏（函館市文化財保護委員）

平成15年9月27日（土）午後1時半、サンリフレ函館において、郷土史の文化講演会を開催した。

講師は中学校長等を歴任し、現在函館市文化財保護審議委員を務める郷土史家の富澤嘉平先生である。

講演のテーマは「激動の時代を歩んできた函館商人と四天王たち」で、四天王たちの銅像は現在元町公園の中におかれている。

四天王たちの名前、ましてや具体的な活動振りや業績については一般的にほとんど知られていない。

富澤嘉平先生は貴重な資料を用意されて、平塚時蔵・渡辺熊四郎・平田文右衛門・今井市右衛門の四天王を中心とした多士済済を、輩出した商人たちとして話をされた。

商人たちは開港後の明治という高揚した時代の空気を吸いながら、パイオニア精神をかかげて、積極果敢に幅広い多種多様な事業をおこし、築いた私財を投じて学校・病院・新聞社を設立し、公共事業・慈善事業にも貢献した。

故人たちの功績についてエピソードを交えながら音

吐朗朗と名調子で話され、最後に現在の函館が活気がなく沈滞ムードにあることに言及したのが印象に残った。

PR不足のためか出席者が十七名と少なかったのが反省の課題であった。



鳥 取 砂 丘 風 紋

私の2泊3日の旅

運営委員 佐々木 正 子

鳥取の砂丘をみて鳥取・出雲地方の古代文化に触れる—そんなあこがれから友人4人で小さな旅をした。昨年の秋、9月25日の早朝函館を発ち札幌からはツアーの一員として出雲空港に降り立つ。その風土に自分の足で立ってみると、ツアーの制約はあるもののさまざまな感慨に浸ることができた。

出雲の国で、国宝出雲大社の大しめかざりに圧倒され、お参りには拍手の音は出されないとの由来を聞いたり、国譲りの本当の意味に触れたりして、出雲大社参拝記念の写真に納まる。松江では「ぐるっと松江堀川めぐり」で水景を楽しみつつ城下町をめぐる。

宍道湖のしじみ汁はしじみがどっさり入っていておいしい。いつもはしじみをお椀に数えるほどしか入れてなかったと日常をちょっぴり反省する。河井寛次郎の作品の釉に触れると、ここまで来て足立美術館をゆっくりと回れなかったことが悔やまれ、もう一度この地に来ようと心に決めた。

皆さんもいい旅にお出掛けと思いますので、ぜひ旅行記を“れきふう”にお寄せ下さい。

(16. 1. 16記)

私のスナッフ写真



現実的文化と神秘性

一芸の奥深さを知って一

運営委員 対馬 栄子

れきふう会主催の新春チャリティパーティでは欠かさず日本舞踊をみて頂いておりますが、まだまだ未熟ながら演じることで勉強になっております。日本舞踊を踊っているときは、現実から少し離れ、多少距離をとって自分にとっての無の世界を感じることができ、役（作品）に近づけられたかなと思っております。少しでも皆様に感動して頂けるようにと踊り続けているところでございます。

作品の魂に導かれてはじめて自分の個性が出て、踊りつづける楽しさを感じとることが出来るように思います。踊りの役の心理を深く表現する演技力を自分のものにすることは、私にとって一生の課題であり、だからこそ、踊りの深さに魅了されていると言えるかも知れません。

最近の舞踊で一番気を使い、印象に残っているのは、忠臣蔵の「七段目 おかる」「老松」「藤娘」でございます。

「七段目 おかる」では、喜びと悲しみの表情のどちらにもお色気が必要でございます。「老松」は気品の

高い作品で、男踊りの部分と女踊りの部分があり、踊って楽しいものでしたが平安文化を感じながら踊るということに感慨深いものがございました。

「藤娘」は、華の精の美しい神秘性をいかに自分を若々しく、美しい娘に演じられたか、胸が踊る思いをどうしたならそのように表せるか、考え込みましたが、結局、素直に自分をそのまま演じることに決め踊りました。

日本舞踊は楽しみながら身体を動かす世界であります。能や狂言、歌舞伎、民族芸能と共通する日本人の柔軟な国民性のあらわれでもあると思います。10歳代の頃から始めた日本舞踊ですが、好きな活け花と共に、私の生涯学習となっております。最近では地域福祉、町の福祉活動の場が与えられ、少しでも多くの方々楽しい時を過ごして頂けるようにと努力しております。これからもさまざまな環境の中でゆとりや潤いのある心の豊かさをもてるように踊り続けて参ります。

(16. 1. 15記)



花 か た み

新春チャリティパーティーで舞う



「七段目 おかる」



札幌文化会館（2000年）の「藤娘」



タイで日本舞踊を披露 現地の人たちと（2002年10月）

お知らせ その2

「これが僕の、私のふるさとだ」展

第1回ふるさと写真コンクール 小・中学生による写真公募展

私共は、日頃函館に数多く残っている文化遺産や歴史的建造物をいたずらに破壊させることなく、現代的意義を再評価し、その保存・活用をはかることにより、ふるさとを愛する心を育むべく市民活動を行っております。小学生・中学生を対象に公募展を行い展覧会を開催し、全作品を広く一般市民の皆さんに鑑賞してもらうべく企画致しました。

おひとり2点まで応募出来ます。1月末日までに五島軒本店に作品をお届け下さい。待っています。作品はりつけ用紙は五島軒にあります。

●これからの予定●

作品審査	2月8日（日）午前10時30分より 五島軒本店
展示会準備作業	2月11日（水）
展示会飾り付け	2月17日（火） 函館駅2階「イカすホール」
表彰式	2月22日（日） 函館駅2階「イカすホール」

函館のまちなみ・建物・電車とのふれあい

私の好きな函館を撮ろう

第6回 路面電車サミット2003 in 函館大会



お知らせ その3

開港5都市景観まちづくり会議横浜大会開催内容について

安政5年(1858)に日米修好通商条約が締結され、函館、神奈川（横浜）、新潟、兵庫（神戸）、長崎の5港が開港されました。この共通の歴史を持つことを縁に、5都市で活動している市民団体が集い、交流や意見交換などをする場として、平成5年から「開港5都市景観会議」が毎年1回、各都市持ち回りで開催しています。第1回の神戸から始まり、長崎、新潟、函館と続き平成15年度は横浜で、大会テーマ「150年の歴史とにぎわいづくり」で開催です。

開催日時 平成16年3月12日（金）～14日（日）

開催場所 横浜情報文化センター ほか

プログラム

12日 午後受付

開会式

全体会議1・基調講演

ウエルカムパーティー

13日 第1分科会

「心に刻まれたあこがれの港町
～文学とうた～」

第2分科会

「わがまちのイベント（仮称）」

第3分科会

「近代化遺産を活かしたまちづくり」

各都市代表者会議

オプションツアー

（ナイトクルージング）

14日 全体会議2

分科会報告

閉会式

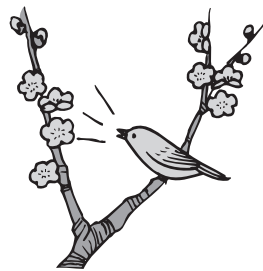
本会15年度予定の旅行会につきましては、この横浜大会の参加を計画しております。

平成16年3月12日の午前中函館発、3月14日午後函館着の2泊3日の予定をしております。参加ご希望の方は、清野会長宅（53-9303）まで。



ご希望の方は編集部へ（TEL 52-8646）

小樽市再生フォーラム発行：小樽再生フォーラム通信こみゅにけいしょん第16号（2003年12月）



※※ 編集 後 記 ※※

75号を急いでつくりました。新春チャリティーパーティーのお知らせや写真コンクール、研修旅行のことなど計画が続いておりますので、会員の皆さまに早くお知らせしたいと思っております。本号では、これまでと少し趣向を変えて、芸術・文化・風土・体験といったジャンルのことが多くなりました。若山さんからは風土とは、対馬さんからは舞台上の虚構をひとつの生として演じることの両義性（世阿弥）を、佐々木さんからは旅、移動の楽しさ

を頂きました。ありがとうございます。なお、執筆者以外の写真は編集太田さんでした。第6回路面電車サミットin函館大会での川本三郎氏の「シネマとトーク」では、生活感覚なしの「キッチン」と、「風景は誰かが言わないとダメ、交通と移動はその舞台をつくる」とのトークが奇妙にマッチして愉快でした。聴衆が少ないのが気になりました。では、3月の新春チャリティーパーティーでお目にかかりましょう。お元気で（編集 きよの）